

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	あすなるSTEP			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 4 日		~	令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 4 日		~	令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各児童の個性とニーズを詳細に理解し、それに基づいた個別支援計画を策定しています。これにより、一人ひとりの発達段階に合わせた最適な教育やケアが提供されており、児童及びその保護者からの信頼と満足度が高いです。	児童の成長とニーズの変化に応じて、個別支援計画を定期的に評価し、必要に応じて更新することで、常に最適な支援が行えるよう努めています。	最新の教育や療育技術を取り入れ、より効果的な支援方法を模索し導入します。
2	施設は常に清潔に保たれ、児童が安全に過ごせるよう配慮された環境が整えられています。事業所では、バリアフリー化された設備投資とともに、日々の活動空間が子どもたちの健康と安全を支えるようデザインされています。	施設内の清掃と安全確保に日々努め、子どもたちの健康と安全を守っています。	安全で快適な環境を保つため、最新の安全設備や児童が刺激を受けるような教育ツールの導入に継続的に投資します。
3	事業所は地域の学校・福祉機関と密接に連携しており、これにより多様なニーズに応える支援が可能となっています。特に、障害を持つ児童が社会にスムーズに適應できるよう、地域全体で支える体制が整っている点が強みです。	職員の資質向上のために継続的な研修と外部からの評価を受け、業務改善に活かしています。	地域の教育機関や福祉施設との協働をさらに深め、児童が地域社会においてより多くの学びの機会と支援を受けられるよう努めます。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもたちとの交流が限られており、インクルージョンの推進に課題があります。	地域活動への参加機会が少ないことは、コロナ化から続いているが少しずつ地域の活動も復活してきているので今後は交流を深めていきたい。	地域でどんなイベントが開催されているかの情報をキャッチしながら、保護者へも（利用日でない保護者へも）情報提供できるよう工夫していきたい。
2	保護者会やきょうだい支援の頻度が低く、家族全体への支援が不十分です。	保護者同士の交流ができる機会を設けられるよう、次年度は計画をしていきたい。	保護者交流や関わりを増やすことで、家族ニーズをより広いよりよい運営につながるよう工夫していく。
3			